

質 問 回 答 書

工 事 名 : 府-1堀奥山小規模崩壊地復旧工事

令和7年4月15日
府中市建設部監理課

番号	質 疑 事 項	回 答 事 項
1	仮設防護柵について 図面及び数量計算書では急傾斜7型のH形鋼仕様（H=4.0m）であるが、仕様書の施工単価表は単価表は土工用仮設防護柵（H=1.5m）丸太仕様となっていますがどちらが正しいのでしょうか。また、急傾斜7型であれば、基礎の設置撤去等が必要である。	図面ではタイプⅣの仮設防護柵表記になっているが、表記違い。仕様書の通り、必要最低限の仮設を想定している。
2	法面工の水切りコンクリートについて 水切りコンクリートが仕様においてはコンクリートになっていますが、通常モルタル吹付施工となる為、吹付砕工【加算額】水切りモルタル・コンクリートでの計上ではないのでしょうか。	【加算額】水切モルタル・コンクリートへ変更で対応する。
3	鉄筋挿入工について 仕様書では現場条件2となっており、削孔には単管傾斜足場が必要であるが、仕様書では作業構台として18.4空m3計上されているが、各段足場が必要であり、足場の数量が少ないのではないのでしょうか。	数量計算書でSD工法と謳ってあるが、表記違いで通常の鉄筋挿入工を想定している。図面での仮設は掘削時の防護柵兼搬出用のスペースとしての設置であり、鉄筋挿入工用の足場ではない。足場数量については計上漏れの為、変更での対応とする。図面への表記は任意の為表記していない。
4	伐採について 施工範囲に立木等があるが、仕様書に計上されていません。施工するにあたり、伐採、集積、積込、運搬処分は必要であるが、計上されていない。	当初設計では、立木の影響は想定していない。